

<p>【園の教育目標】</p> <p style="text-align: center;">心も体もたくましく 生き生きと遊ぶ子</p> <p style="text-align: center;">健康な子・よく遊ぶ子・やさしい子</p>	<p>【令和6年度の園評価より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案を通し保育を振り返る中で、ねらいや環境と援助、子どもの姿、考察を残し、普段からPDCAサイクルを行う。 ・リズム遊びに継続して取り組み、年齢の運動発達を理解や学びを深めながら、子どもが自由に体を動かす心地よさや体を操ることの楽しさを引き出していく。 ・自然なかたちや意図的に異年齢交流の場を設け、子どもが憧れの気持ちや思いやりの気持ちを持ち、異年齢児と関わることの喜びを感じられるようにする。 ・自分の好きな遊びを見つけて、遊びに必要な物を用意したり作ったりすることができるよう、環境整備の工夫をする。 ・登降園時や懇談の中で、保護者へ活動の意味やどんな力をつけたのか、どんな力が育っているのかを伝えていく。
--	---

4段階評価 ○保育者 ☆関係者 ●課題

親 点	短期目標	自己評価	保護者評価	評価及び意見の概要
保育・幼児教育の充実	作成・計画の改善	3.5	3.9	<p>○園内研修にて職員同士の週案を見合い記入について学び合ったことで、記入の仕方が変わり、子どもの姿から考察する力もついてきた。</p> <p>○考察より一人一人に合った課題を見出し次週へとつなげることで、子どもの成長を見届けることができた。</p> <p>☆日々の活動の中で、無理なく様々な経験ができており、子どもの成長につながっている。</p> <p>☆常に見通しをもち指導にあたっていることで、子ども達の健全な成長に効果を上げている。</p> <p>☆保育者が自身の保育を振り返って冷静に考えたり、細かなことを思い出したりする中で、指導や対応の考察ができています。</p> <p>●保育者間で「ねらい・子どもの姿・考察・次週への課題（PDCA）」を共有し、連携を図りながら保育に努める。</p>
	健康な体づくり	3.0	3.9	<p>○リズム遊びを継続的に行ったり隙間時間を利用して取り組んだりすることで、子ども達にとってリズム遊びが身近なものになり、体を動かす楽しさが感じられるようになった。</p> <p>○リズム遊びを通して待つことや見ることなど、他の力も育ってきた。</p> <p>☆子ども達は家庭で体を動かす機会が少ないため、園で楽しみながらリズム遊びや体を動かす活動を行うことは大切である。子ども達の体力や運動面の成長を感じる。</p> <p>☆子どもの発達段階に応じたりリズム遊びを活用し、工夫ある体力づくりができています。</p> <p>☆リズム遊びは体力づくりや筋力、柔軟性、その他集団活動としても効果が出ているため、今後も継続して行うことを望む。</p> <p>●子どもの体の育ちを見据えた取り組みができるよう、保育者間で考えたり話し合ったりする場を設ける。</p>
	社会的発達	3.7	3.8	<p>○いつでも園庭で遊べる環境を活かし異年齢の子ども同士と一緒に遊んだり、遊戯室でリズム遊びと一緒に取り組んだり、交流ができた。また、異年齢児に対する刺激や憧れの気持ちから、やってみたい真似してみたいという意欲につながった。</p> <p>○行事や計画された遊びの中だけでなく、日常生活の中に、3歳児が5歳児にトイレへ連れて行ってもらったり午睡時に起こしてもらったりする活動を取り入れた。自然なかたちで優しさに触れ合うことができ、互いが関わることの喜びを味わうことができた。</p> <p>☆周りの子を見て、相手ができるまで待ったりやり方を教えたりする姿があり、自然な園生活や遊びの中で優しさが育っていることを感じる。温かく見守る雰囲気、園の中にあることが大切である。</p> <p>☆異年齢交流を重視されている点は、小学校も学ぶべきところである。</p> <p>●継続した取組と、午後からの遊びにおいても、保育者間で連携を取りながらコーナー遊びを設定するなど、交流を図っていく。</p>
	精神的発達	3.9	3.9	<p>○玩具を小分けし収納することで、好きな玩具を選んで遊ぶ姿が見られるようになった。</p> <p>○子どもの実態や興味に合わせ環境を変化させてきたことで、遊び込む姿が見られた。</p> <p>○個が遊び込む姿から、友達と関わって遊んだり集団遊びを楽しんだりする姿につながった。</p> <p>☆自分の好きな遊びを見つけ、楽しみながら取り組む様子が伝わり、遊びを通して意欲や主体性が育っているように感じる。</p> <p>☆自分で考え自由に選んで、じっくり遊ぶことが就学前児の良さであるが、家庭で補えない子もいるため、園でじっくり遊ぶ経験ができるよう今後も願う。</p> <p>●子どもの実態に合わせ、手作り玩具の入れ替えや十分な数を用意するなど、細やかな環境づくりをしていく。</p>
子育て支援の充実	保護者の連携	4.0	3.9	<p>○クラス便りや日々の連絡帳や掲示、保育参観などを通し、どんなことをねらいどんな力や成長につながったかを伝えることができた。</p> <p>○子どもの成長を喜び合ったり困り感に寄り添ったりすることで、保護者との信頼関係が構築され深まった。</p> <p>☆日々の様子を丁寧に伝えられることで、子どもの成長や園での様子がよく分かり、安心して子どもを預けることができる。</p> <p>☆保護者との連携を大切にしているところが評価でき、共に子どもを育てる意識づくりにつながっている。</p> <p>☆保護者がネット情報に振り回されることのないよう、専門（プロ）として正しい情報を伝えてほしい。</p> <p>☆保護者評価が高い数値であるが、慢心せず更なる高みを目指し研鑽を積まれることを望む。</p> <p>●クラスの枠を超え、職員全体で一人一人の子どもの成長を見届け、共有することで、保護者に様々な子どもの成長を伝えられるようにする。</p>

<p>【次年度に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案を活用し、保育者間で「ねらい・子どもの姿・考察・次週への課題（PDCA）」を共有し、連携を図りながら保育に努める。 ・年齢の身体的発達に合ったリズム遊びに取り組み、自由に体を動かすことの心地よさや体を操ることの楽しさを引き出していく。 ・意図的や自然なかたちで異年齢交流の場を設け、異年齢児と関わる中で、憧れの気持ちや思いやりの気持ちを持ち、関わることの喜びを感じられるようにする。また、子どもから出た異年齢交流の提案が実現できるよう、時間や場所を確保する。 ・子どもが「明日もまた園に行きたい」と思えるような環境を設定し、やりたい遊びに期待をもちながら登園したり、登園後は必要な物を自分で準備して遊び出したりすることができるようにする。 ・「大垣市保育者キャリアアップ指標」及び「大垣市保育者キャリアアップ研修一覧表 兼受講票」を活用し、自分のステージの指標を身に付け、自身のキャリアアップにつなげる。
